



令和3年度 実施事業

# 公益目的事業報告書



ななせダム(写真提供:国土交通省 大分河川国道事務所)

令和4年4月



一般社団法人  
**九州地域づくり協会**  
Kyushu Regional Management Service Association



協会ホームページ

## 笑顔をつなぐ地域づくり

一般社団法人九州地域づくり協会（前身は社団法人九州建設弘済会）は、昭和40年の設立以来57年間にわたり、河川や道路を舞台とした九州各地のボランティア活動などの地域活性化支援や社会資本整備に関わる広報活動などに幅広く取り組んで参りました。

その中であって、社会資本整備に対する国民のニーズが多様化する状況を踏まえ、平成15年からは、若手研究者の育成等を兼ねた研究等助成事業、また平成17年度からは、当協会の創立40周年を記念して土木遺産発掘調査に取り組むなど、多様なニーズに応じて事業内容を充実させ今日に至っています。

さらに近年では、平成28年4月熊本地震、平成29年7月九州北部豪雨、令和2年7月豪雨、令和3年8月の大雨などの九州地方における大災害に対し、被

災自治体や災害ボランティアへの支援等へも積極的に取り組んでいます。

平成25年4月の一般社団法人移行にあたり、内閣府へ「公益目的支出計画」を移行認可申請書の一つとして提出し、内閣総理大臣より公益目的財産額の確定通知を受け、「公益目的支出計画」が確定しています。

この「公益目的支出計画」では、平成24年度までに実施してきた公益事業（収益を伴わない事業）をあらためて公益目的事業として位置付けし、社会貢献を続けています。

本報告書では、令和3年度に実施した公益目的事業について、九州各地の地域づくりや環境美化等の活動に活躍されている方々をご紹介します。

笑顔をつなぐ九州の地域づくりの参考となれば幸いです。

令和4年4月



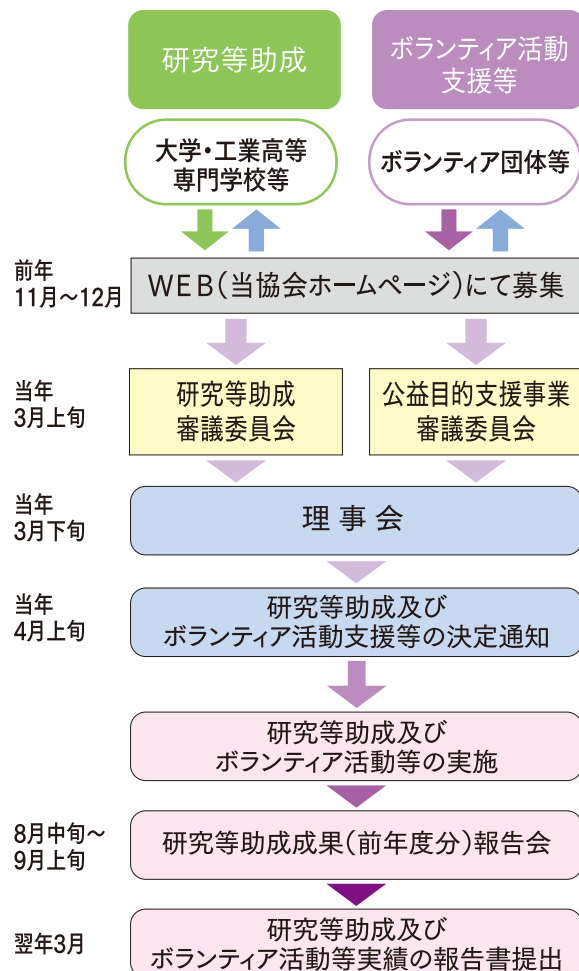
## ●公益目的事業の募集及び運営について

当協会では、公益目的事業として、①社会資本整備に関する広報活動事業、②建設事業の推進及び普及のための調査研究事業、③地域活性化等支援事業、④防災活動等支援事業の4つを継続実施しています。

このうち、②の研究等助成事業は、これまで外部有識者から構成される「研究等助成審議委員会」を設け、幅広い意見を反映した手続きを行っています。

一方、①、③、④のボランティア活動等の支援事業については、より客観性を有した効果ある支援を継続するため、令和2年度、外部有識者を加えた「公益目的支援事業審議委員会」を設け、幅広い意見を反映した手続きへ変更しました。

令和4年3月9日、当審議委員会が開催され、令和4年度の支援事業について審議が行われました。



令和3年度公益目的支援事業審議委員会(令和4年3月9日)



## 1

社会資本整備に関する  
広報活動事業

実施額：17.9(百万円)



## 【事業の概要】

国土開発の発展及び地域社会の繁栄に寄与することを目的として、国及び地方公共団体と連携を図りながら国土交通行政、社会資本整備に関する広報啓発活動、講習会等を通じて、一般市民の社会資本に関する理解を深める活動を支援します。

## p5 広報活動等事業

- 「国土交通Day」 ●「川の日」
- 交通事故防止キャンペーン
- 道守活動事業、「土木の日」他

## p8 講習会等事業

- 九州地域づくり協会主催によるセミナー等

## p9 九州建設資料館運営事業

- 本部資料室「KMAプラザ」の設置
- 贈与図書等の整理 ●検索システム更新等

## 2

建設事業の推進及び  
普及のための  
調査研究事業

実施額：43.7(百万円)



## 【事業の概要】

九州における社会資本整備の普及とさらなる理解を図ることを目的として、社会資本整備の歴史の調査研究を行うとともに、建設技術等の推進に関する調査研究及び人材育成への助成を行います。

## 調査研究事業

- p10 ①九州土木遺産調査研究
- p13 ②九州地域の社会資本整備の歴史
- p14 ③防災に関する調査研究

## 研究等助成事業

- p15 ①大学等への研究助成事業
- p17 ②人材育成に関する助成事業

# 3

## 地域活性化等 支援事業

実施額：18.1(百万円)



### 【事業の概要】

社会資本整備に対する理解の醸成を目的として、河川・道路等の愛護活動を通じた地域活性化、体験学習等を通じた人材育成、地域インフラの愛護活動及び地域資源等を活かした地域活性化の活動を支援します。

### 地域活性化等支援事業

- p19 ①河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業
- p19 ②環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業
- p21 ③河川・道路等の愛護活動支援事業
- p24 ④地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

# 4

## 防災活動等 支援事業

実施額：16.8(百万円)



### 【事業の概要】

安全・安心な暮らしに寄与することを目的として、近年の異常気象等により発生する災害に対し、公共土木施設等の整備・管理等に専門的なノウハウをもつ集団やNPO等が取り組む活動などを支援します。

### 防災活動等支援事業

- p25 九州防災エキスパート会支援事業
- p27 令和3年8月の大雨に伴う災害ボランティア活動への支援状況
- p28 「道の駅」の広報活動(道の駅の日ウィーク)
- p28 肥後国づくり狂言プロジェクト

# 1

## 社会資本整備に関する 広報活動事業

### 広報活動等事業

#### ●全国行事

令和3年度「国土交通Day」



フォトコンテスト(国土交通Day)

令和3年度「川の日」



出典:「日本水大賞」受賞、記者発表資料より



出典:いい川・いい川づくり  
実行委員会HPより

#### ●図書等の配布



交通事故防止キャンペーン



会報九州



公益目的事業報告書



調査研究助成事業  
成果報告書

社会資本の整備・利活用に向けた地域活性化や啓発活動につながる事業及び全国規模開催の「国土交通Day」、「川の日」等へ協賛するとともに、小・中学校で実施されている「交通事故防止キャンペーン」等へ図書を寄贈しています。

また、当協会では、協会活動等を紹介する「会報九州」、支援する河川、道路、地域づくり等についての「公益目的事業報告書」及び「調査研究助成事業報告書」を作成しています。

更に、地域住民へ河川、道路、地域づくりなどの理解を深める啓発活動(広報・学習活動等)

やNPO等の社会資本整備に関する広報活動を支援するため、当協会ホームページにおいて毎年一般公募を行っています。

令和3年度においては、コロナ禍による活動中止等もありましたが、21団体の事業に対して支援を行いました。

土木関連の広報イベントでは、土木の仕事の魅力や社会資本整備、防災対応の重要性等をPRするとともに、九州各地における道路の清掃・美化等の「道守会議」の広報活動についても支援を行いました。

## ● 広報活動事業の一部を紹介

### 海の中道「フラワーピクニック2021」

海の中道「フラワーピクニック」実行委員会

#### 事業の内容

- 花修景・展示花壇
- うみなかフラワーガーデンコンペティション
- 花とふれあいを楽しむイベント
- 自然を楽しむ・学びイベント
- 地域とつながるイベント 等

#### 事業の効果

- コロナ禍にも関わらず多くの方に来園していただきました。このことは、さまざまなイベントの実施や広報に取り組んだ効果の表れです。公園は安全に遊ぶことができることを再認知してもらった結果となりました。



### 令和3年度 宮崎県内道守活動支援事業

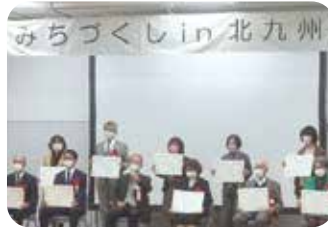
道守みやざき会議

#### 事業の内容

- 道守みやざき会議一斉活動
  - 道路清掃・植栽活動
- まちなかフラワーパーク
  - 花壇の植栽・道路の清掃活動 等

#### 事業の効果

- 「まちなかフラワーパーク」では、広報の観点から広く一般の方にも参加を呼びかけているため、植栽後も景観美化を維持できています。
- 植栽イベントの実施は、各道守団体の活動の場の増加及び相互間での活動の協力へとつながっています。



### 道守かごしま座談会・研修会等

道守かごしま会議

#### 事業の内容

- プランターへの植栽の実施

#### 事業の効果

- 幅広い広報活動により、子どもから高齢者までの参加があり、少子高齢化が進む地域の活性化を担っていることを再確認することができました。
- 花苗体験だけでなく、植栽帯等の除草、剪定、施肥も地域の方々と一緒に取り組むことで、道守活動をさらに理解していただけました。



## ● 広報活動事業の一部を紹介

### 土木の日大分行事

おおいた建設人材共育ネットワーク

#### 事業の内容

- 県内の土木施設を巡るバスツアーの実施  
(玉来ダム、稲葉ダム、ななせダム 等)

#### 事業の効果

- 参加者に今回のバスツアーを体験してもらうことにより、社会資本整備の重要性を認識してもらうことができました。
- タウン情報誌やSNS等を通じての広報活動により、見学会の様子などを発信し、より多くの方に土木の魅力を伝えることができました。



### 高校生と写真で伝える土木の魅力・未来プロジェクト

噂の土木応援チーム デミーとマツ

#### 事業の内容

- 写真部の高校生による土木現場の撮影会
- 撮影会の前に、土木の使命と価値についての講義
- 撮影した写真展の開催

#### 事業の効果

土木の魅力を伝える広報活動を行ない、参加した高校生より次の感想を頂きました。

- 土木の仕事について初めて知った。
- 土木のおかげで私たちの生活があることを実感した。
- 現場で働く人のカッコよさにファンになった。等



特定非営利活動法人  
はかた夢松原の会  
理事長 礒谷 慶子氏

### 10年継続した活動成果が見事に結実

福岡都心を東西に走る国道202号の沿線において、地域住民や沿道店舗、学生などの協力を得て、月2～3回の清掃活動や年2回の花植え活動に取り組んでいます。平成24年から10年間この活動を続け、道路環境の向上、ごみや放置自転車の激減、点字ブロックの機能回復などの成果を実感しています。今回、福岡市が取り組む「一人一花運動」への貢献が認められ、令和3年度に固定プランター92個が提供されました。私たちの会は昭和62年から博多湾岸への松の植樹を継続し、同市の推薦により、今年、緑化推進団体として国土交通大臣賞を受賞しました。

この活動をアピールするためのチラシ、のぼりなどの作成費用に、協会からの支援を活用しています。





## 講習会等事業

講習会等事業は、河川・道路・地域づくり・防災等の社会資本整備に関する講習会等の開催や他団体の講演等へ支援を行っており、

令和3年度においてもコロナ禍のなか、以下2件の講演(習)会を主催致しました。

### 第8回 地域づくり政策セミナーについて

日時:令和4年1月31日[月]  
13:00~17:00

会場:TKPガーデンシティ  
博多新幹線口5F プレミアムホール

※当日は、残念にも全国的なコロナ感染拡大を受け、急きょ会場参加者をWeb受講に変更し、申込者約350名に対して、参加者約250名の完全Webの受講となりました。

#### 目的

当セミナーでは、インフラ・ストック効果の周知を図るため、近年の社会情勢を踏まえ「DX時代のインフラと人材育成-DXがもたらす社会変化-」をテーマに、各分野で活躍されている方々より多面的な知見を頂きました。

#### ポイント

##### 1)基調講演

土木研究所の中村上席研究員より、世界の最新情報の動きやDXを活用した公共事



Zoomによるパネルディスカッションの様子

(左上より右へ)

土木研究所 中村上席研究員	九州大学 馬奈木教授	清水建設(株) 小島部長
------------------	---------------	-----------------

(左下より右へ)

九州地方整備局 森下部長	NTTドコモ 坪谷部長	九州大学 日野名誉教授
-----------------	----------------	----------------

業の動向等について重要な情報提供を頂きました。

##### 2)パネルディスカッション

日野コーディネータより、①DX推進に伴う既存ルールの見直しや改定等②働き方改革を含めた建設インフラの生産性向上③所属・学部を越えた産官学、特に他業種との連携等の重要性をまとめて頂きました。

### 令和3年度 九州の河川維持管理技術に関する講習会(南部)

日時:令和3年12月18日(土)  
13:00~17:00

定員:Web/200名  
(対象/九州・山口県内、配信/Zoomウエビナー)

#### 目的

近年、雨の降り方が局地化・集中化・激甚化していることから、日頃からの防災・減災に向けた維持管理の重要性から、河川管理技術者のスキル向上を目的とした講習会をコロナ禍のなか、以下の講師により、完全Webによる講習会を開催致しました。

#### 講演内容

1)自然が多様で豊かな河川管理について(その4)

宮崎大学名誉教授 杉尾 哲 氏

2)河道の維持管理について

国土技術政策総合研究所 河川研究室長 福島 雅紀 氏

3)九州地域における河川の維持管理について

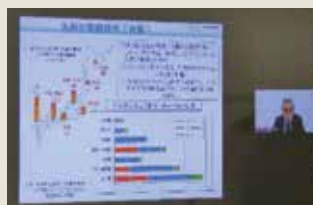
国土交通省 九州地方整備局 河川情報管理官 竹下 真治 氏



1) 杉尾名誉教授の講演



2) 福島室長の講演



3) 竹下管理官の講演



意見交換会の様子

## 九州建設資料館運営事業

当協会では、平成17年4月より、当協会福岡支所の九州建設資料館において、収集及び寄贈を受けた図書等について一般公開を行ってきました。

令和2年11月、更なる利活用向上を図るため、九州建設資料館より当協会本部へ閲覧対象の図書約4,000冊の移動を行い、「KMA※1プラザ」を設置しました。

KMAプラザでは、主に河川、道路、トンネル、橋梁、建設、土木、環境等の分野の技術図書を中心としており、災害記録や各種工事報告書なども閲覧することができます。

令和3年度においては、約100冊の寄贈図書等の追加登録を行ない、更なる蔵書充実に努めています。

なお、対象図書については、協会ホームページの「図書検索システム」によりご確認できます。



※1) KMAは九州地域づくり協会の英文表記 Kyushu Management Associationの略です。



開館時間	9:00～16:00 (会議室内に併設のため、事前にお電話でご確認及びお申込み下さい。)
休館日	土日祝日および年末年始 (12/27～1/4) ※ 臨時休館等の変更あり
問合せ先	092-476-5680 (九州地域づくり協会 企画部企画課)
所在地	福岡県福岡市博多区博多駅東 2丁目5-19 サンライフ第3ビル4F



交通のご案内

●JR鹿児島本線 博多駅より徒歩3分

## 土木技術に関する資料寄贈をお願いします

ご寄贈くださる場合には、あらかじめ上記問合せ先にお電話をいただけたら幸いです  
<http://www.qscpua.or.jp/>



# 2

## 建設事業の推進及び普及のための 調査研究事業

### 調査研究事業

#### ①九州土木遺産調査研究

#### 調査研究事業

本事業は、若い土木技術者達をはじめとした関係者が土木の仕事に誇りを持ち、土木への志を奮い起こさせ、土木技術の啓発・継承や継続的な人材育成に役立てるための調査研究です。

先人達が時代の技術や知恵を集結し、次世代のために築造した歴史的な土木施設に光を当て、地域の貴重な土木遺産(259箇所)として、観

光、地域振興に活用することを目的に、平成17年度より当協会ホームページにおいて「土木遺産in九州」を一般公開してきました。

令和3年度は、昨年度に引き続き、更なる土木遺産の活用策検討とともに、北九州地区の土木遺産関連冊子の作成・配布を行いました。

### 土木遺産の活用策検討

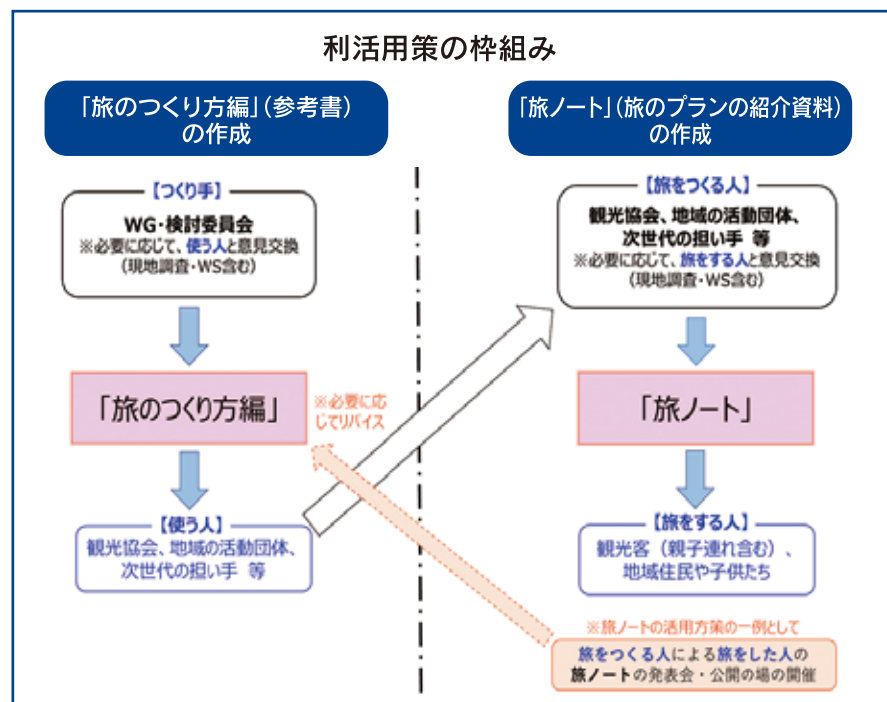
#### 1.検討の目的・概要

本検討は、土木遺産活用により地域活性化を促すため、指定済みの九州管内の土木遺産の活用とあらたな土木遺産の発掘を目的としており、令和3年度は、土木遺産の利活用策について、専門家によるワーキングにおいて検討を行ない、その結果を委員会に諮り、今後の方向性や展開のあり方等を取りまとめました。

#### 2.令和3年度の検討内容

##### 1)土木遺産の利活用策

地域に溶けこむ土木遺産の重要性を伝える利活用策として「土木遺産な旅のススメ(つくり方編)」(以下、旅のつくり方編という。)及び内外や次世代に伝える「土木遺産な旅ノート」(以下、旅ノートという。)を右記の枠組みにに基づき作成しました。

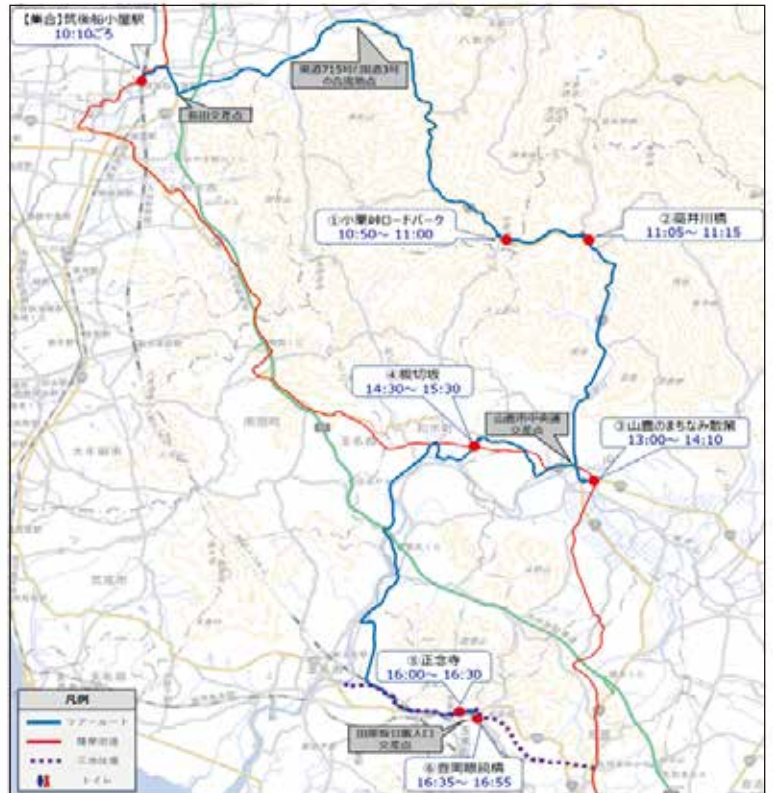


## 2) 試行エリアにおける 土木遺産の活用検討

福岡県南部～熊本県北部の「国道3号薩摩街道」を対象に、過去2か年間の文献調査、現地調査結果に基づくモデルルート企画・検討を行い、実用性等の確認を目的とするツアーを実施しました。  
(令和3年11月1日～2日)



国道3号薩摩街道モデルツアー



## 3) 土木遺産活用策検討の進め方

### ①ワーキング

土木遺産活用策の検討にあたり、各専門分野の立場から土木遺産の活用に向けた調査や地域活性化の取り組み、利活用策等について検討する場としてワーキングを開催しました。

【開催日時】 第1回:令和3年7月21日

第2回(モデルツアー):令和3年11月1日～2日

第3回:令和4年1月26日



ワーキングの開催状況

### ②検討委員会

ワーキングでの検討結果を踏まえ、土木遺産活用に向けての新たな方向性や展開のあり方を取りまとめる場として委員会を開催しました。

【開催日時】令和4年2月24日



検討委員会の開催状況

## 北九州地区の土木遺産関連冊子

九州各地における土木遺産の魅力を外に紹介する手段として、案内冊子を作成しています。

令和3年11月30日～12月1日の九州内の道路の清掃・美化活動等を担うボランティア団体が一同に集う「みちづくしin北九州」

において、北九州地区の土木遺産を紹介する現地ゆかりの人物をガイドに仕立てたユニークな冊子を参加者へ配布しました。

この冊子は、数回の現地調査を踏まえ、リアリティに富んだ次の3編構成となっています。

## 1) 門司港・関門・下関編

剣の使い手であった『宮本武蔵』を案内人とし、①門司港エリアの売りは、「大正ロマン」となる「門司港レトロ地区」の洋館群であり、②関門エリアでは、当時の我が国の土木技術の英知を集集した「関門国道トンネル」や「関門橋」の苦労話がメインとなっています。

また、③下関エリアでは、赤間神宮や巖流島、更には下関の洋館等も訪ねています。

全体エリアMAP



※宮本武蔵と歩くプレミアムツアー  
北九州土木遺産めぐり  
門司港・関門・下関編



宮本武蔵のついで道  
九州の宝蔵目・門司港として本城、関門・下関は、島が関が東に島嶼を引いたに似て、津波に侵らされ、津波の遺跡が目を奪います。その道に隠されたストーリーを体験できます！

案内人：宮本 武蔵

## 2) 遠賀川と若松編

北九州で石炭荷役をする沖仲仕の『ごんぞう』を案内人とし、①若松エリアでは、石炭の積出港として栄えた若松港の「若松港築港関連施設群」や我が国の海上架橋技術を生んだ「若戸大橋」、さらには沈埋トンネルの「若戸トンネル」を紹介しています。

また、②折尾エリアでは、明治以降、石炭輸送の中継地として発展した「折尾駅舎」などがあります。

③中間エリアでは、江戸時代はかんがい水路として、明治時代は石炭を運んだ小舟「川ひらた」の輸送路となった「堀川(運河)」を紹介しています。

全体エリアMAP



※ごんぞうと歩くプレミアムツアー  
北九州土木遺産めぐり  
遠賀川と若松編



「鳥居一の夢の語り橋」と言われた若戸大橋と、石炭積出港で栄えた若松。この地、今和歌山には、そのふもとにある若松産炭の歴史が土木遺産に認定された。新しい北九州の観光スポットになるよ。

案内人：ごんぞう

## 3) 長崎街道編

江戸時代の測量家である『伊能忠敬』を案内人とし、小倉城下から木屋瀬宿までの長崎街道をたどっています。①小倉エリアでは、九州の各街道のスタート地点となった常盤橋や小倉城など、②黒崎エリアでは、当時の陸・海路の要所となった黒崎宿場の様子など、③木屋瀬エリアでは、筑前六宿の1つで遠賀川の水運で栄えた木屋瀬宿の様子などを紹介しています。

全体エリアMAP



※伊能忠敬と歩くプレミアムツアー  
北九州土木遺産めぐり  
長崎街道編



わしも歩いた長崎街道の起点・登壇橋から本陣宿舎を中心に案内つづけます！当時の面影を残す遺構をたどりつつ街道に繋いだ文化と風土をしのぶことができます！

案内人：伊能 忠敬

## ②九州地域の社会資本整備の歴史

調査研究事業

本協会では、近代から昭和期に築造された様々な九州の土木施設を対象として、培われて来た土木技術を次世代に伝承する目的で、当時建設に携わった先人達の苦悩の日々を綴った冊子：新・土木遺産「プロジェクト九州～人と技術と情熱の物語～」(第1～9巻)を平成23年度から令和元年度にかけて発刊してきました。

各巻とも、我が国の経済成長を支えた九州における数々のプロジェクトに挑んだ多くの

技術者の弛まない努力の痕跡について、緻密な取材努力により描き出し、土木技術の価値を広く語り継がれる比類なき冊子です。

今まで発刊してきた各巻は、九州各県・政令都市の土木部局や図書館、九州内の大学、工業高等専門学校へ寄贈を行っています。

令和3年度は、これらの蔵書をより多方面で紹介する目的で、以下のとおり、当協会ホームページへの掲載を行いました。 <http://www.qscpuia.or.jp/>



### ●当協会ホームページに掲載したプロジェクト九州

No	発刊年月日	掲載概要
第1巻	H23(2011)/06/10	①関門国道トンネル、②長崎県の海を跨ぐ橋梁群、③筑後川におけるダム群建設
第2巻	H24(2012)/07/15	①天草五橋、②九州自動車道、肥後・加久藤トンネル、③雲仙・普賢岳
第3巻	H25(2013)/09/15	①若戸大橋から関門橋、そして明石海峡大橋へ、②鶴田ダム、③九州の多目的ダム群
第4巻	H26(2014)/10/01	<b>荒ぶる自然に立ち向かう</b> ／①82長崎大水害、②93鹿児島大水害、③九州北部豪雨
第5巻	H27(2015)/11/15	<b>特殊土壌への挑戦</b> ／①有明粘土層、②宮崎・日南層群、③北松型地すべり地帯
第6巻	H29(2017)/03/31	<b>道を拓く</b> ／①三太郎国道、②加久藤越え、③宗太郎越えと別大国道、④名橋の道 他
第7巻	H29(2017)/08/10	<b>熊本地震復興へ</b> ／①阿蘇大橋が落ちた、②阿蘇への道を探せ、③大崩壊、④橋もトンネルも、⑤高速道路が止まった、⑥傷付いた熊本城、⑦大地変動の時代：強靱な国土を
第8巻	H30(2018)/07/10	<b>高速道路の時代</b> ／①雲仙・島原道路、②九州縦貫道路、③九州横断道路、④東九州道
第9巻	R元(2019)/11/15	<b>原点：全ては除災招福のために</b> ／①国土強靱化を問う、②地域を拓く道、③パイオニアたちの献身、④「築土構木」最古最大プロジェクト、⑤日本を変えた古道



第1巻(92)



第2巻(139)



第3巻(155)



第4巻(162)



第5巻(150)



第6巻(140)



第7巻(134)



第8巻(127)



第9巻(244)

※( )は各巻の総ページ数

九州地方では、過去より大規模かつ多様な災害により教訓を得て様々なことを学んできました。

一方で、災害の教訓は伝えにくく、また過去の災害に関する資料が継承されず、十分に活用されていない状況も見受けられます。

このため、九州地方において過去に発生した地震、津波、火山災害及び風水害に関する調査結果を平成24年より収録し、当協会ホームページの「九州災害履歴情報データベース」として継続的な公開を行っています。

九州災害履歴情報データベースの利用環境改善

令和3年度の検討内容

「九州災害履歴情報データベース」の活用促進や活用の高度化の観点から、利活用場面や利用者ニーズを設定・抽出し、現行HPにおける問題点と課題の洗い出し及び改善策の検討を行いました。

また、関係者への簡易ヒアリング結果を基に、災害情報を調べるための検索キーワードを設定し、現行HPを使用した場合のHPへの辿り着きやすさを評価するとともに、掲載情報の内容や現行HPの操作性に着目し、課題の抽出と改善策の検討を行いました。

具体的には、利活用場面ごとの活動内容と其中で災害履歴データベースの活用が考えられる取組を設定しました。

活用場面	災害履歴データベースの活用が考えられる具体的な取組など
地域防災	防災知識の普及・啓発、過去に災害の起こった現地視察先の検討 等
学校教育	地域防災マップの作成や現地視察先の検討 等
企業等	BCP計画時の発生事象の洗い出し(過去にどんな災害が起きたか=リスクがあるか) 等
行政	災害に関する知識の構築や、住民への配布資料作成 等
学者等	研究を進める上での文献情報や、現地視察先の検討 等

現行HPの問題点の中でも「欲しい情報への辿り着きやすさ」が今後も利活用促進で重要と考え、改善案として検索機能の充実を検討しました。

具体的には、ニーズの高い検索項目の設定と検索に対応するデータベースの更新作業等を行い、更なる利活用促進に向けた対応をしました。




今後、災害履歴情報データベースにおいて、「地域」や「災害碑の有無」等による検索が可能となれば、必要な情報だけの効率的な抽出が可能となります。

また、今回作成の伝承冊子の活用により、防災教育の一環として児童が作る防災マップや地域住民への配布資料の素材としての活用などが考えられます。



改善案：検索機能の充実(イメージ)

改善案反映後の災害履歴情報データベースの活用イメージ

<p><b>避難訓練や課外授業の箇所検討</b></p> <p>【年表から】 自分の地域に関する災害情報や災害碑を抽出できるため、現地調査選定に活用できる。</p> <p>【詳細ファイルから】 地域に存在する災害碑や関連史跡をめぐると、現地調査に活用できる。</p> 	<p><b>防災マップの素材として活用</b></p> <p>【年表から】 自分の地域に関する防災情報や災害を抽出し、災害の選定に活用できる。</p> <p>【伝承冊子から】 子供たちが作る防災マップの素材として活用できる。</p> 	<p><b>BCP計画時(災害の発生事象洗い出し)</b></p> <p>【年表から】 自分の地域に関する災害情報を抽出し、過去の発生頻度などの分析に活用できる。</p> <p>【詳細ファイルから】 災害情報を調べる際の資料探しや情報収集先の選定に活用できる。</p> 
---	--	--

## 研究等助成事業

### ① 大学等への研究助成事業

研究等助成事業

#### 調査研究

##### 1、[趣 旨]

国際化、情報化等の進展に伴い、国民のニーズが多様化する中で、適切な国土管理及び円滑な社会資本整備の進め方などに寄与するため、土木技術全般に関わるハード及びソフト両面についての調査研究が求められています。

このため、若手研究者の育成も兼ねて、九州地区の大学・工業高等専門学校に対して募集し、それに要する費用を助成しています。

##### 2、[募集テーマ]

###### 1)一般テーマ

土木技術全般に関わる新分野の取り組み等のハード及びソフト両面についての調査研究とします。

###### 2)特定テーマ

###### ①地域の活性化・再生

コロナ禍において、AI、5G等の新技術を活かしながら誰もが多様なカタチで社会参加できる新たな価値観に基づく社会が求められています。そこで、

- (1)社会的課題解決に向けた住民、NPO、大学、行政が連携して取り組むまちづくり
- (2)地域資源活用の地域活性化や高齢社会及び訪日外国人を支援する社会資本づくりとそのあり方
- (3)地方創生、過疎地域の活性化対策

などの幅広い分野におけるハード及びソフト両面からの調査研究とします。

##### ●令和3年度 研究等助成事業

応募案件について、実現性や研究開発による効果等の観点より、学識経験者、有識者等で構成された以下の2回の審議委員会において厳正な審査を行い、次の5件が決定されました。



令和2年8月27日(木)

令和3年度研究等助成に関する募集要領及び募集テーマの説明

###### ②インフラの老朽化対策及び生産性向上方策

政府は2013年を「社会資本メンテナンス元年」と位置づけ、これまでにインフラ長寿命化基本計画に基づき行動計画や具体的な点検・修繕計画を展開中です。

さらに国土交通省では、2016年を「※生産性革命元年」と位置付け、社会全体の生産性向上につながるストック効果の高いインフラ整備・活用や、関連産業の生産性向上、新市場の開拓を支える取組を加速化しています。

これらを踏まえたインフラの老朽化対策における堅実な取組み及び生産性向上方策の取組みに対するハード及びソフト両面からの調査研究とします。

※国土交通省HP

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/point/sosei\\_point\\_tk\\_000021.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/point/sosei_point_tk_000021.html)

参照、「国土交通省生産性革命プロジェクト」にてパンフがダウンロード出来ます

###### ③九州地域等における防災・減災対策

今後の大規模・広域・複合災害への備えとして、安全・安心の持続性の高い国土再構成が急務となっています。

このため、九州地域等におけるハード対策及びソフト対策として、社会インフラを預かる関係機関の備え方や市民への働きかけ、さらには災害ボランティアのあり方など、多くの切り口からの調査研究とします。



令和3年3月4日(金)

令和3年度研究等助成内容の選考検討等



## 令和3年度 調査研究決定者一覧表

番号	大学・高専名	調査研究課題名	研究テーマ	実施期間
1	九州大学大学院 工学府 都市環境システム工学専攻	研削材を用いた超高压水混相流体による鋼素地表面 処理の新技术開発と従来技術の課題ブレイクスルー	特定	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日
2	九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門	九州地方における将来気候下での流域管理手法 提案に向けた洪水・濁水リスク評価に基づく災害頻 度および水資源量予測	特定	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日
3	九州大学大学院 工学研究院 社会基盤部門	地域の素材を活用した汎用型断面修復材の開発 に関する基礎的研究	特定	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日
4	福岡大学 工学部社会デザイン工学科	竹廃材を有効利用した防災・災害復旧への地盤改 良工法の開発	特定	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日
5	宮崎大学 工学部環境ロボティクス学科	位相差による波源方向推定を用いた構造物内部 欠陥可視化システム	特定	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日

## ●令和2年度 研究助成成果報告会（令和3年8月27日(金)）

平成15年度より研究助成事業を開始し、研究助成の成果発表会は昨年度に続き8回目の開催となりました。今回は、コロナの感染拡大に伴ない、3名の報告者は完全web対応としました。



理事長あいさつ



報告会の開催状況



Web報告の様子

今回、報告いただいた3件について全体の講評を述べさせていただきます。

- ①連続波高主レーザー処理による重度の腐食部材の損傷対策と防食皮膜の高耐久性化の研究。
- ②数値シミュレーションによる地震時の橋梁上部工における支承の挙動と終局破壊プログラム解明の研究。
- ③今後の下水道メンテナンスに視点をあてた太陽光を利用した下水道管渠内の硫化水素等の有機物分解・除去の新技术開発。

それぞれ3件とも、土木工学における繊細な研究や新たな視点からの研究への取り組みであり、素晴らしい成果報告を聞くことができました。

これらの研究は、新たな取り組みであり、研究が十分に煮詰まっていない部分もあるようですが、今後、更なる研究や改善を行い、それぞれ研究のブラッシュアップを続けて頂きたいと願っています。

皆様、本日は、ありがとうございました。



講評／角 知憲  
(研究等助成審議委員長)

## 人材育成

社会の国際化、情報化等に伴い、国民ニーズが多様化する中、適切な国土管理、円滑な社会資本の整備及び利活用を進めることが重要となっています。

このため、河川、道路、環境、防災、構造物維持

管理、景観デザイン等をテーマとして、九州地区の大学、工業高等専門学校、団体等を対象とした実践的な人材育成や教育の取り組みを募集しており、令和3年度は、下表の3大学、1法人に助成を行いました。

## 令和3年度 人材育成決定者一覧表

番号	大学・法人名	人材育成課題名	実施期間
①	九州大学 大学院工学研究院 附属アジア防災研究センター	高速道路維持管理のための実践エンジニアリング教室	令和3年4月12日～ 令和4年8月30日
②	九州大学 持続可能な社会のための決断科学センター	九州デザインシャレット2021 in 熊本市 (学生・社会人技術者を対象とした地域密着型デザイン演習)	令和3年4月1日～ 令和4年12月31日
③	長崎大学 大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	若手建設業関係者を対象とした道守補助員コースの 開催と評価	令和3年5月1日～ 令和4年3月31日
④	一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会 運営委員会広報活性化小委員会	九州・山口地区の大学・高専の若手人材ネットワーク の育成を目指した道路や橋梁等構造物の維持管理の 現状や将来展望に関する実践的な研修会	令和3年10月23日～ 令和3年10月23日

## [令和3年度 人材育成の取り組み概要]

①

大学等教育の拡充に寄与することを目的として、九州大学等の学生を対象に講義および実習等を実施するものであり、NEXCO西日本より、保有技術や高速道路等を建設・管理する際の技術的な課題を“生きた教材”としています。

『土工工事の概要』『のり面安定計算実習』等の講義(座学)、『路線線形計画の立案』の実習とともに、実際の現場にて具体的な『のり面構造物点検』を行い、点検結果を基にその『対策方法の立案』まで、一連の業務の内容に沿った実習により、専門性の高い技術的な体験・経験ができるカリキュラムとしました。

参加学生からは、「大学では学べない道路の知識を新たに得ることができて大変役だった。」「実際ののり面点検方法について学ぶ機会は今までなく、良いきっかけでした。」等の声が聞かれ、全般的に良い評価が得られたと思われま。



路線線形計画実習



のり面構造物点検実習

近年、にぎわいづくりや居場所づくり、健康増進、地域防災力向上等の観点から、これまでの概念や制度の枠を超えて、道路、河川、公園、広場等の公共空間を積極的に活用し、心地よい時間と多様な交流を生み出すことで、都市や地域の価値を高める取り組みが増えています。

公共空間の計画、設計、施工、運用に携わり、自らの技術力



②

を高めたい学生、社会人を対象として、公共空間の特性を、毎回の講義やグループワークで得た知見等を活かしながら多面的なアプローチで読み解き、読み取った空間特性の全体像をわかりやすく表現する機会を設けています。

なお、シャレット(charrette)は仏語で「荷馬車」の意味であり、仏の大学生が設計課題の提出日に荷馬車に図面を積んで学校に来る様子から、短期間に集中的に行う演習を意味しており、例年、現地・合宿形式の開催でしたが、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大に鑑み、オンラインでの実施となりました。



オンラインでの実施状況

③

インフラの維持管理を適切に行うためには、インフラの異常の早期発見と早期対策が必須であり、インフラの異常に気付く人材が地域に多数いることが必要となります。

このため、当センターでは、道守養成講座を2008年より開始し、道路の点検・診断・アセットマネジメントができる専門技術者を養成しています。

若い世代にインフラの維持管理に関心を持ってもらい、活動に参加してもらうことが不可欠であるため、今回、若手建設業関係者を対象として、入門レベルの道守補助員コースを開催し、試行・評価を行い、開催目的を達成できたと自己評価をしています。

今後、道路異常通報システムによる通報、道路見守り活動への参加、技術者を対象とした道守補コースの受講等に結び付けていく等を追跡調査する予定です。

現在、建設業では、新規就職者が就職3年以内に離職する割合が40%に達しており、当講座が新規就職者に土木の仕事のやりがいを伝える役割を果たすことを期待しています。



道路異常通報システムの演習



橋梁現場実習の様子

④

今回、16回目を迎えた当研修会は、令和3年10月23日(土)、コロナ禍を鑑みてオンライン開催され、就職活動を控える学部生、修士学生、高専生を対象としています。

道路や橋梁をはじめとした社会基盤設備の重要性・現状・今後の展望について、ゼネコン、橋梁メーカー、建設コンサルタント、電力、鉄道、官公庁などで活躍する若手・中堅技術者の講演を柱の一つとしており、これから社会へ羽ばたく学生へのメッセージをメインテーマとしています。

今回は、計6名の講師に登壇頂き、各業界の魅力やこれまでの仕事内容の他、1日のタイムスケジュール、自身のモチベーション変化やその業界を選んだ理由等も講演頂きました。

また、事前アンケートを基に、今後の土木技術者に求められる力やコロナ禍による仕事の変化などをテーマとしたパネルディスカッションも開催しました。



中継会場の全景



オンライン画面の様子

# 3

## 地域活性化等 支援事業

● 地域活性化等支援事業の一部を紹介

### ① 河川・道路愛護活動を通じた地域活性化活動支援事業

河川や道路を舞台とした愛護・啓発等の活動とともに地域イベント等を開催し、地域活性化を図るNPO等の団体活動を支援しています。

令和3年度は、NPO等の団体が活動主体となった2事業を支援しました。

#### 河川愛護活動

小島校区まちづくり委員会

##### 事業の内容

- 白川の日の河川敷清掃活動
- 健康ウォーキングの開催
- 小島公園の桜管理

##### 事業の効果

- 小島公園では、地域活性化の取り組みとして、平成15年に桜を植栽し、今では桜の名所となっており、河川敷を含めた散歩コースとして地域の人に定着しています。
- 河川敷の清掃では、ゴミ拾いを手伝ってくれる釣り人や感謝の言葉を掛けてくれる人もいて、河川美化の意識啓発になっています。



### ② 環境(体験)学習による人材育成活動等支援事業

水辺を遊びの場、自然体験の場、自然環境調査の場とするイベントを開き、川遊び、自然観察、環境(生物、水質)調査等の学習を通じて河川環境保全の重要性を啓発する活動を支援しています。

また、河川をフィールドとして活動する人材を育

成しているNPO等やボランティア団体と地域住民が連携する活動についても支援しています。

令和3年度は、川を体験する諸活動や環境保全活動等の10事業を支援しました。

#### リバーチャレンジスクール

直方川づくり交流会

##### 事業の内容

- 遠賀川から花のプレゼント
- バードウォッチング
- くり箸づくり 等

##### 事業の効果

- リバーチャレンジスクールへの参加をきっかけとして、子どもたちがそれぞれ興味のある分野の学習を続け、ワークショップや遠賀川流域リーダーサミット、さらにはブラジルで開催された第8回世界水フォーラムでの発表など、人材育成の活躍の場を広げています。



## アザメの瀬関連事業

特定非営利活動法人アザメの会

### 事業の内容

- アザメの瀬 田んぼの学校
- アザメの瀬 体験・魚取り
- 夏休み自然環境教室
- 田んぼで魚取り
- ふくおか水もり自慢

### 事業の効果

- 人材育成となる体験活動を通して、児童や保護者、区民に対して環境問題と河川愛護の意識を高めることができています。
- 九州大学や河川事務所、他の団体とも交流・連携し情報交換もできました。



## ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成

自然と暮らしを考える研究会

### 事業の内容

- 体験型の支援と出前講座
- 川の安全教室(リバーズクール)
- 水辺の環境整備(水辺周辺の環境美化と安全対策)
- 人材育成(交流・会議・WS 等)

### 事業の効果

- 子どもたちの遊びの場だけでなく、人材育成となる体験学習や幼小中高生の総合学習の場として活用(学習支援)ができました。



## 川を体験する諸活動

こうやま 川の少年団

### 事業の内容

- 魚釣り体験
- 川釣り体験
- 山登り(南与志岳)
- 歴史散策

### 事業の効果

- 異年齢集団で活動することによって、人材育成の観点からお互いに思いやり助け合うことが大切だと気付かされました。
- 公共事業の必要性について、広く理解してもらえました。
- 町内の川の水質状態が良くわかりました。



## 魅力あるふる里の川づくり

赤江未来の会

### 事業の内容

- 河川・道路の草刈り
- 堤防に彼岸花の球根植栽
- 総合的な学習支援の実施
- みんなの農園に野菜の植付け、収穫 等

### 事業の効果

- 人材育成の総合的な学習支援により、児童たちに川の楽しさや自然環境を守ることの大切さを理解してもらっています。
- 河川及び周辺道路のゴミ拾いにスポーツ少年団が参加、美しい宮崎づくりに貢献し、青少年の健全な育成に役立っています。



## ③河川・道路等の愛護活動支援事業

河川や道路等を慈しみ、住民参加型の維持管理（清掃・美化）を積極的に行い、道路利用者等へのマナー向上や道路愛護思想の啓発普及に努めている沿道住民、NPO、企業等団体のボランティア活動

（歩道清掃、花壇の維持管理）を支援することにより、地域コミュニティの活性化に寄与しています。令和3年度は84事業を支援しました。

## ボランティア・サポート・プログラム

久大生コン内環境美化委員会

### 事業の内容

- 道路の美化清掃活動
- 道路周辺の除草や花苗の手入れ

### 事業の効果

- 社員や地域住民及び国道の利用者の美化意識が向上しています。
- ポイ捨て等が少なくなり、景観の美化維持につながっています。
- 近所の方々より、感謝の言葉を掛けてもらったり、国道利用者からはお褒めの言葉が書かれた手紙をいただいております、活動の原動力となっています。



## ローズ・マリーの会 ふれあい花壇づくり

ローズ・マリーの会

### 事業の内容

- 国道沿いのゴミ拾い、雑草・枯葉の除去
- 花壇に四季の花の植栽、除草、散水、消毒、土壌の入れ替え、追肥 等

### 事業の効果

- 花壇の花の種類を多くすることで、色彩が豊かになり、人々に心のやすらぎを与え通勤・通学のラッシュ時のイライラ緩和に寄与しています。
- 通行人や近隣の方たちから「いつもきれいですね」「ご苦労さん」など、感謝の言葉をいただき、活動の励みになっています。



## 道路愛護(花の苗)

多久市そうじの会

### 事業の内容

- 道路の清掃活動
- 花壇の花植え

### 事業の効果

- ボランティア参加団体と合同で清掃活動を行うことにより、清掃エリアが拡大し、効果が上がっています。
- 花の苗を植えることで美化意識が高まり、ゴミの減少につながり、地域との交流も深まっています。



## ボランティア活動 (国道緑化、清掃活動) 事業

天満スマイルクラブ

### 事業の内容

- 歩道の植栽帯やプランターの花苗管理  
(花植え、除草、灌水)
- 歩道の清掃活動

### 事業の効果

- コロナ禍にあって、団体での活動ができづらい環境の中、落ち込む気持ちを花を植えることにより「頑張ろう!!」という気にさせてくれます。あらためてこの活動の大切さを感じています。



## ボランティア・サポート・プログラム

八嘉校区まちづくり委員会

### 事業の内容

- 花壇の花の管理、除草及び周辺の清掃活動

### 事業の効果

- 当事業を実施することで、地域住民と良い関係を築いています。
- 国道がきれいになって、ゴミの量も減り、ドライバーからは心が和む道路だと言う意見が寄せられています。



## 国道10号 道守花壇 (別府市上人ヶ浜)活動

別府市上人ヶ浜町自治会

### 事業の内容

- 花壇に花苗の植栽
- 花壇内及び周辺の除草

### 事業の効果

- 花壇を維持することで、歩行者や運転手には、心安らく景観となっており、「綺麗ですね」と言う声をいただくと、それがやり甲斐につながっています。



## ボランティア・サポート・プログラム

小吹毛井区福祉推進会

### 事業の内容

- 歩道の清掃活動
- 花苗の植樹、手入れ等による美化緑化活動

### 事業の効果

- 国道の美化が集落の美化につながり、区民の意識を高め、大変有意義な活動となっています。
- この活動が区民の交流の場となっており、年長者の経験や技術を若い区民が学ぶ良い機会となっています。



## 50周年を控え、活動の広がりを実感

私たち豊友会は、国土交通省九州地方整備局の大分県内4事務所に勤務した経験のある元職員で組織された団体です。豊友会では同県内を南北に貫く国道10号や大分川の周辺で、清掃・美化活動や植樹活動などのボランティア活動を企画・主催しています。国道沿道では年4回、河川沿線では年2回ほどの活動を定期的に取り組んでいます。

私たちはこうした活動を協会の支援を頂きながら10年以上継続し、令和3年は、地域の高校生から参加の申し出などもあり、ボランティア活動の着実な広がりが感じられます。

豊友会は令和4年に創設50周年を迎えます。現在、これに向けて啓発冊子や旗の作成、活動写真のまとめ作業を進めています。



豊友会  
ボランティア担当  
宮成 秀一郎氏





## ④地域資源の活用による地域活性化活動支援事業

身近な公共空間である「道」を舞台に、地域資源（景観、自然、歴史、文化、考古、食・産物、祭り等）を最大限活用し、住む人・訪れる人にとって魅力的な九州を実現することを目的に、「九州風景街道」の

取り組みが管内15ルートで展開しています。

これらの活動を進める多様な主体（地域住民、NPO、町内会・自治会等）の諸活動を支援しています。令和3年度は10団体の活動を支援しました。

### 令和3年度 街道遺産発見ウォーク事業 「歩く唐津街道の旅」

旧唐津街道ジャーニーラン・ウォーク

#### 事業の内容

- 旧唐津街道往路ウォーク(北九州市門司区～芦屋～福岡市～唐津市)
- 旧長崎街道ウォーク(北九州市小倉北区～黒崎・本屋瀬～赤間)
- 唐津～門司間の標識設置(4箇所)

#### 事業の効果

- 当活動の参加者には80歳前後の方も多く、健康・学習・交流機会の増進に貢献しています。
- この「歩き」による活動は、道路環境整備や沿道の地域資源の発掘・発見の啓発行動となることも期待され、参加者の拡大や継続性の確保に大きな効果をもたらしています。



### 日本風景街道 「九州横断の道やまなみハイウェイ」

九州横断の道やまなみハイウェイ協議会

#### 事業の内容

- 湯布市や九重町の野焼き実施
- 竹田市道路沿線の花植え活動
- 英語版PR動画の製作
- 油屋熊八絵葉書の作成

#### 事業の効果

- 野焼き・花植え・清掃活動に地域団体が連携交流しながら、地域資源となるやまなみハイウェイ沿線の景観を守っているとの共通の認識を持って取り組んでいます。



### 他地域連携による 周遊ルート活用モデル事業

唐津街道むなかた推進協議会

#### 事業の内容

- ①地域のイベントに合わせて周遊事業の実施
- ②唐津街道(赤間宿～芦屋宿)整備事業
- ③ホームページやイベントのチラシ等による広報活動

#### 事業の効果

- ①では、他団体と連携して事業を実施し、唐津街道の周知及び観光客の市東部周遊につながりました。
- ②の事業では、街道の保全ができ、今後の周遊事業への活動が可能となっています。
- ③では、地域資源となる観光施設と連携して周知を行うことで、観光客等、唐津街道のことを知らない方にも興味を持っていただくことができました。



# 4

# 防災活動等 支援事業

## 九州防災エキスパート会支援事業

九州防災エキスパート会は、九州地方整備局のOBで組織している災害支援のボランティア団体です。

これまで培ってきた防災の知識・技術を生かして、災害時においては、現場に出動し復旧工法の指導などを行うとともに、平常時においては、九州地方整備

局の各事務所が実施する出水期前の点検や訓練等での助言などの他、各種の技術支援や防災以外の技術伝承に係る活動にも取り組んでいます。

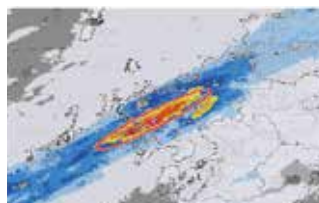
令和3年度は、新たに31名の新会員が加わり、令和4年3月末現在の会員数は437名となっています。

### 1、令和3年8月災害等の出動

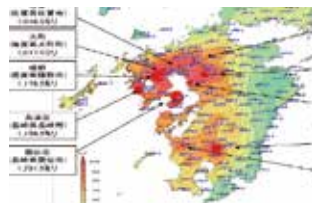
8月11日から19日にかけて前線が九州付近に停滞し、特に14日は九州北部で大雨が降り、長崎・佐賀・福岡の各県に大雨特別警報が発表されました。

また、線状降水帯の発生を知らせる「顕著な大雨に関する情報」も九州北部を中心に発表されました。

この期間の降水量は、雲仙岳：1,291.5mmの他、九州北部の多地点で1,000mm以上の雨量を記録しました。



線状降水帯状況



アメダス総降水量の分布図

※ 福岡管区気象台HPより

#### ① 筑後川支援

8月14日、筑後川支川の城原川堤防裏法の一部崩壊が発生し、出動要請を受けて対策工の助言等を行うとともに、21日には、同現地に出勤して原因調査等を実施しました。



事務所活動状況



現場出動状況

#### ② 武雄(六角川)支援

8月11日から降り続く大雨に見舞われ、14日早朝より出動要請があり、(武雄)事務所と武雄市役所に出動しました。

6時30分頃、六角川29K付近の左岸堤防から溢水し、1,000mmを超える長期間の降雨と潮汐の影響を受け、令和元年を超える内水被害が発生しました。



六角川溢水状況



武雄市役所へ出動

#### ③ 長崎支援

8月11日から降り続く大雨により、長崎では13日～18日間において、延べ8箇所道路被害に係る助言等を行いました。

##### ③-1：南島原地区(R57号)

8月15日午前、法面崩壊の応急復旧現場において大型土嚢等の追加を提案しました。

##### ③-2：長崎市中里町地区(R34号)

8月18日午後、歩道部陥没現場において現地調査を実施しました。民地側側溝と5m下の道路横断水路を接続する縦断水路の損傷に伴い、吸い出しによる空洞が発生しましたが、車道部への支障は確認されませんでした。



南島原(R57号)状況



長崎市(R34号)状況

#### ④ 大分支援

被災により8月12日から全面通行止めの九重町野上と日田市赤岩のR210の現地調査を行い、片側交互通行を実施しても支障ない旨の助言を行いました。



九重町野上地先(R210号)



日田市赤岩地先(R210号)

#### ⑤ 台風14号豪雨災害における宮崎支援

9月16日、台風14号接近に伴う豪雨により、国道220号宮崎市内海(小内海駅付近)において斜面崩壊が発生したため、現地調査や応急復旧工法の確認等を行いました。



応急復旧工事状況



砂岩層と崩落した泥岩層

## 2. 平常時の活動(技術支援を含む)

### ① 河川堤防決壊シミュレーション

洪水時(地震時)の堤防決壊を想定し、現場条件を踏まえた対策工法検討等の応急復旧訓練に参加し、助言や意見交換を行いました。……大分、宮崎等5事務所



大分 実施状況



宮崎 実施状況

### ② 道路法面点検

梅雨期(台風期)に備え、被害が想定される個所や地元要望個所等を各出張所で抽出し、事務所と合同点検を行い、助言や意見交換を行いました。……佐国、熊本等7事務所



佐賀国道 実施状況



熊本 実施状況

### ③ 道路徒歩巡回

事務所職員と防災エキスパート会員が道路管理施設の異常や不法占用物件等について合同点検を行い、職員のスキルアップを図っています。……福岡、北国等3事務所



福岡国道 実施状況



北九州国道 実施状況

### ④ 大規模津波防災訓練

令和3年10月30日、大分県津久見市において、大規模津波防災訓練が行われ、佐伯事務所の指示のもと以下の訓練を実施しました。

- ・河川管理施設の被災状況調査訓練
- ・堤防応急復旧訓練
- ・道路被災状況調査訓練
- ・パネルによる防災エキスパート会の活動説明



### ⑤ 筑後川7出張所の水防備蓄資材調査

堤防側帯において、土砂、根固ブロック、接続ブロックの他、現場発生のコンクリート製品等が多種備蓄されていましたが、破損品も見られたため、水防備蓄か工事用かを含め、適切な管理が必要との助言を行いました。



## ⑥ 大分i-con活動

令和4年1月のi-con推進活動会議に先立つ11月、地盤改良工の現場見学会が実施され、令和4年1月のi-con大分セミナーでは、防災エキスパート会より助言等を行いました。



(現場見学会)



(推進活動会議)



(i-conセミナー)

## 3. 技術伝承に係るサポート活動

### ① 武雄河川技術サポート

令和3年8月出水を踏まえた流域治水対策について、「六角川流域治水協議会」を控え、地元からの外水・内水対策のあり方への意見等も踏まえながら、協議会へ提示する対策案などについて積極的な意見交換を行いました。



### ② 立野ダム技術サポート

現在、立野ダムは本体工事の最盛期を迎え、柱状工法によるコンクリート打設中の状況にあり、工事事故が頻発していることから、工事の安全管理について助言を求められ、意見交換を行いました。



### ③ 北九州国道技術サポート

八木山バイパスの防災個所の合同点検において、カルテ点検箇所のうち、特に今後、対策等の判断が必要な箇所について、若手技術職員を対象とした実施点検を行い、意見交換を行いました。



### ④ 長崎道路技術サポート

コンクリートの耐久性向上には、打設プロセスの確認と施工後の表層目視評価が重要となるため、事務所の若手技術職員を対象とした現場実践により、コンクリート打設の技術力向上の支援活動を行いました。



## 令和3年8月の大雨に伴う災害ボランティア活動への支援状況

災害時におけるNPOや市民団体等のボランティア活動や復旧活動に必要な装備品の支援を行うとともに、平常時における住民の防災意識の啓発・高揚に向けた講習会、訓練等の活動についても支援を行っています。

令和3年度においては、「令和3年8月の大雨」による佐賀県、福岡県の被災地においてボランティア活動を行った以下の九州内3団体に対して支援を行いました。

団体名(代表者名)／所在地	活動概要	活動地区	活動期間
① SSJ佐賀(石田 勇以) ／佐賀市	佐賀県を拠点として、平成28年熊本地震を機に設立し、佐賀大学生と社会人の約20名が在籍しており、被災家屋からの土砂、家財の搬出作業等の災害支援を実施しました。	(佐賀県) 武雄市、 大町町	8月23日～ 9月30日まで
② 災害ボランティア 九州・仁(中村 隆則) ／熊本市	災害復旧復興支援を目的に活動しており、令和2年7月豪雨の際、9ヵ月間に渡り、熊本県芦北町で災害支援活動を行っています。 今回、佐賀県関連機関より受入承認をもらい、平日2名、週末5名の人員構成により、被災家屋からの土砂、家財の搬出作業、床下乾燥等の災害支援を実施しました。	(佐賀県) 武雄地区 (武雄市、 大町町等)	8月26日～ 10月31日まで
③ 防災グ(望月 文) ／朝倉市	福岡県朝倉市を拠点としており、久留米市社会福祉協議会と連携した特殊ニーズ案件の対応団体とのマッチング作業とともに、被災家屋調査、床下の水抜き・消毒作業、床下乾燥の資機材設置作業を実施しました。	(福岡県) 久留米市	9月6日～ 10月31日まで



## 「道の駅」の広報活動(道の駅の日ウィーク)

ドライバーの憩いの場としてだけでなく、防災の拠点としても認知されつつある「道の駅」の役割をこのイベントを通じて、更に多くの皆様に知って頂くために、災害時「道の駅」の果たした役割等のPR活動を行いました。

4月22日は国土交通省が定めた「道の駅の日」です。令和3年度は、全国道の駅連絡会の近畿・中国・四国・九州沖縄ブロック合同で、「道の駅の日ウィーク」を開催しました。

- ①防災の拠点としての道の駅の位置づけを広報する。
- ②道の駅の日の周知徹底を図る。
- ③地方創生の拠点としての道の駅を広報する。
- ④道の駅の4つの機能(休憩・情報発信・地域連携・防災)を紹介する。

上記の4つを多くの皆様に知って頂く事により、今まで以上に道の駅の重要性を認識して頂けるものと考えています。



道の駅大和 (R3.04.23) / 防災訓練の様子

## 肥後国づくり狂言プロジェクト

当プロジェクトは、熊本地震の被災地のシンボルである熊本城の復興を祈念しつつ、熊本県民の精神的文化である“加藤清正公”の土木資産を再検証し、清正公も愛した『狂言』を用いて熊本県民の防災力向上と心の支援を目的としています。

日頃、狂言に接する機会が少ないため、日本古来の芸能文化に触れ、地域づくりやインフラの今昔に対する理解を深めて頂く行事となりました。

今も土木の神として熊本県民に敬愛される“加藤清正公”の土木資産について、顕彰した新しいカタチでの防災事業の重要性・必要性や地域づくりのあり方を世の中に広く知らしめる事業であり、メディア発表、動画配信など、一連の広報活動(有識者等による資産のパネル展示)と定期活動プログラムを通じ、以下について、十分効果のある結果となりました。

- 熊本地震・豪雨災害の被災地への支援意識・防災意識の向上と被災地からの学び
- 清正公の功績振り返りを通じて防災事業の重要性・必要性、地域づくりや土木資産への関心向上・観光ルート開発

- 子どもたちのコミュニケーション力向上、体幹・精神錬磨、次世代の土木技術者育成(シビックプライドの醸成)

『熊本の復興と強いまちづくり』を応援する土木と狂言のコラボレーション企画  
土木防災パネル展示の様子



国づくり狂言プロジェクト 熊本地震からの復旧



## 広報活動支援事業

### 海の中道「フラワーピクニック2021」

海の中道「フラワーピクニック」実行委員会

P6

### 道守九州会議 交流会 「みちづくし in 北九州2021」

道守九州会議

多様な道路空間の利用  
～緑を活用した安全・安心の国道道路～  
特定非営利活動法人はかた夢松原の会

P7

### 道守活動

道守大川ネットワーク

### 道守活動事業

道守柳川ネットワーク

### 道守体験事業・道守交流会

道守佐賀会議

### 道守支援事業

特定非営利活動法人 道守長崎

### 令和3年度 宮崎県内道守活動支援事業

道守みやざき会議

P6

### 道守かごしま座談会・研修会等

道守かごしま会議

P6

### 土木の日熊本行事

「土木の日」熊本実行委員会

### 土木の日大分行事

おおいた建設人材共育ネットワーク

P7

### 宮崎県「土木の日」

宮崎県「土木の日」実行委員会

### 第35回 宮崎「橋の日」活動

宮崎「橋の日」実行委員会

### 第20回九州「川」のワークショップin日向

第20回九州「川」のワークショップin日向実行委員会

### 九州建設技術フォーラム2021

九州建設技術フォーラム実行委員会

### インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

インフラメンテナンス国民会議 九州フォーラム

### 令和3年度 「地域の夢・アイデア発掘・活用事業」

(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部

### I LOVE 遠賀川活動

特定非営利活動法人 遠賀川流域住民の会

### ハイウェイネットワーク2021

神話トライネット

### 語ろうみんなで!三つの輪シンポジウム

(道の駅・日本風景街道・道守)  
“語ろうみんなで!三つの輪”実行委員会

### 高校生と写真で伝える土木の魅力・未来プロジェクト

噂の土木応援チーム デミーとマツ

P7

## 地域活性化等支援事業一覧

### ① 河川・道路愛護活動を通じた 地域活性化活動支援事業

#### 河川愛護活動

白川の清流と緑を護る会

#### 河川愛護活動

小島校区まちづくり委員会

P19

### ② 環境(体験)学習による人材育成活動等 支援事業

#### 鮭稚魚の孵化・育成・放流事業

遠賀川源流サケの会

#### リバーチャレンジスクール

直方川づくり交流会

P19

#### 彦山川等河川環境保全活動事業

田川ふるさと川づくり交流会

#### アザメの瀬廻り事業

特定非営利活動法人アザメの会

P20

#### ふるさとの水辺を生かす体験学習と人材育成

自然と暮らしを考える研究会

P20

#### 山・川・海をつなぐ自然体験学習及び環境保全活動

特定非営利活動法人 天明水の会

#### 乙津川水辺の楽校事業

乙津川水辺の楽校運営協議会

#### ラブリバー団体支援事業

始良川河川愛護会

#### 川を体験する諸活動

こうやま 川の少年団

P20

#### 魅力あるふるりの川づくり

赤江未来の会

P21

### ③ 河川・道路等の愛護活動支援事業

#### 不知火町公民館国道208号 道路愛護・地域活性化等活動

不知火町公民館

#### 道路等の愛護活動支援事業

けやき通り発展期成会

#### 国道208号道路愛護・地域活性化等活動事業

4町内環境美化委員会

#### 大牟田市民憲章推進委員会

国道208号線街路美化事業  
大牟田市民憲章推進委員会

#### ボランティア・サポート・プログラム

久大生コン内環境美化委員会

P21

#### ボランティア・サポート・プログラム

吉井コスモス街道

#### 花木植栽(花もも)及び維持管理の活動

浮羽バイパスフルーツロード保全会

#### 地域活性化等支援事業

ごみゼロ青春探検隊いとしま

#### ボランティア・サポート・プログラム

たんぼほの会

#### ローズ・マリーの会 ふれあい花壇づくり

ローズ・マリーの会

P21

#### ボランティア・サポート・プログラム

野多目大橋花クラブ

#### ボランティア・サポート・プログラム

双葉工業株式会社

#### VSP210号歩道等清掃緑化活動

川原町老人クラブ

#### ボランティア・サポート・プログラム

大和ハウス工業株式会社ボランティア活動の会

#### 国道208号道路愛護・地域活性化活動

道守おおむたネットワーク

#### 福国・橋守マイスター会活動

福国・橋守マイスター会

#### 町内美化活動・花植栽

高坊二丁目南町内会

#### 国道201号線見立入口交差点及び周辺の美化と清掃活動

松和会

#### 一般国道10号北九州市小倉南区湯川新町地区の 花壇管理道路美化清掃ボランティア事業

花と緑の会

#### 国道3号線除草及び維持管理事業

(株)九州緑化建設

#### 門司港地域における環境美化、整備、維持、管理活動

NPO法人門司港レトロ花の会

#### 美化・清掃活動

株式会社 田舎暮らし

#### 道路愛護(花の苗)

多久市そうじの会

P22

#### 道路愛護

環境を守る会

#### 一般国道34号佐賀地区外道路美化活動

葉隠会道守部会

#### 道路清掃及び美化活動を目的とした 地域女性活動の活性化事業

江北町女性ネットワークの会

#### ボランティア長崎

ロード・スターズ

#### ボランティア活動(国道緑化、清掃活動)

潮見小学校校区町内連絡会

#### ボランティア活動(清掃)

共新電設工業株式会社

#### ボランティア活動(清掃)事業

クローバー・ロード清掃隊

#### ボランティア長崎

九州ガス株式会社 大村支店

○の中の数字は掲載頁を表しています。

●の色の事業はZOOM UPのコーナーに掲載しています。

ボランティア活動(国道緑化、清掃活動)事業  
天満スマイルクラブ P22

ボランティア長崎  
竹友会

ボランティア活動(清掃)  
クリーン&グリーン推進隊

VSP208号清掃、花壇管理事業  
玉東町区会

ボランティア・サポート・プログラム  
稲佐地区会

ボランティア・サポート・プログラム  
八代ドライビングスクール職員組合

ボランティア・サポート・プログラム  
株式会社 森工業

道路の愛護活動事業(環境美化運動)  
大津町商工会女性部

ボランティア・サポート・プログラム  
八嘉校区まちづくり委員会 P22

豊かな大分を目指そう大作戦  
豊友会 P23

国道10号線別大国道清掃美化活動  
生石港町 自治会

国道10号 道守花壇(別府市上人ヶ浜)活動  
別府市上人ヶ浜町自治会 P23

国道10号西生石 道路清掃・美化活動  
西生石自治会

管生ゴミ0大作戦  
竹田市立管生小学校

国道57号等の植栽・清掃活動  
「中九州横断道路」早期完成を願う女性の会

ボランティア・サポート・プログラム  
旭建設株式会社

ボランティア・サポート・プログラム  
都城市市役所通り会②

ボランティア・サポート・プログラム  
内海地区自治会・公民館

ボランティア・サポート・プログラム  
日南海岸コパノセンナを育てる会

ボランティア・サポート・プログラム  
日南チョウザメ養殖場株式会社

ボランティア・サポート・プログラム  
富士区

ボランティア・サポート・プログラム  
鶴戸山をかつしやる協議会

ボランティア・サポート・プログラム  
社会福祉法人つよし会つよし学園成人部

ボランティア・サポート・プログラム  
小吹毛井区福祉推進会 P23

ボランティア・サポート・プログラム  
日南市立鶴戸小中学校

ボランティア・サポート・プログラム  
大黒グループ

ボランティア・サポート・プログラム  
小目井花いっぱいし隊

ボランティア・サポート・プログラム  
宮浦220号線花の愛好会

ボランティア・サポート・プログラム  
宮崎日南生活ロード女性の会

ボランティア・サポート・プログラム  
霧島会

ボランティア・サポート・プログラム  
島山花いっぱい地域づくりの会

ボランティア・サポート・プログラム  
新上橋電車通り会

ボランティア・サポート・プログラム  
草牟田通り会

ボランティア・サポート・プログラム  
栄門通り会

ボランティア・サポート・プログラム  
伊敷町通り会

ボランティア・サポート・プログラム  
鹿児島市立河頭中学校

ボランティア・サポート・プログラム  
平山お達者レディースクラブ

ボランティア・サポート・プログラム  
旧市花壇サポートクラブ

ボランティア・サポート・プログラム  
喜んまちづくりグループ

ボランティア・サポート・プログラム  
特定非営利活動法人 How to 21 Club

ボランティア・サポート・プログラム  
麦生田西区自治会

ボランティア・サポート・プログラム  
日置市高齢者クラブ連合会 共進クラブ

ボランティア・サポート・プログラム  
河頭町内会

ボランティア・サポート・プログラム  
株式会社アルファー

VSP(220号清掃、植栽帯管理活動)事業  
郷之原夢染づくり協議会

VSP(220号清掃、植栽帯管理活動)事業  
札元商工親睦会

VSP(国道220号線清掃・植栽管理活動)事業  
柘原地区振興会

国道220号 垂水荒崎パーキング清掃他活動  
たるみず折鶴

本明川河川敷の除草・清掃・コスモスの植栽  
本明川をきれいにしゅう会

本明川河川敷の植栽による地域活性化事業  
黒崎干陸地を守る会

本明川河川敷への花の植栽による地域活性化事業  
特定非営利活動法人 拓生会

花いっぱい活動及び清掃活動  
津留地区ふるさとづくり運動推進協議会

花緑柳河原川クリーン作戦  
花緑自治公民館

#### ④ 地域資源の活用による地域活性化活動 支援事業

みどりの里・耳納風景街道PR事業  
みどりの里・耳納風景街道推進協議会

日本風景街道「豊の国歴史ロマン街道」  
豊の国風景街道推進協議会

令和3年度 街道遺産発見ウォーク事業  
「歩く唐津街道の旅」 P24  
旧唐津街道ジャーニールン・ウォーク

世間遺産学会事業  
日本風景街道別府湾岸・国東半島海への道推進協議会

日本風景街道「九州横断の道やまなみハイウェイ」  
九州横断の道やまなみハイウェイ協議会 P24

令和3年度 日豊海岸 循環型浦ツーリズム  
環境整備&下阿蘇海岸景観保全事業  
日豊海岸シーニック・ハイウェイ研究会

かごしま風景街道周知啓蒙活動  
かごしま風景街道

日本風景街道「ながさきサンセットロード」推進事業  
ながさきサンセットロード振興会

他地域連携による周遊ルート活用モデル事業  
唐津街道むなかた推進協議会 P24

令和3年度薩摩よりみち風景街道観光客受入事業  
薩摩よりみち風景街道協議会

#### 防災活動等支援事業

#### 地域防災活動等

「道の駅」の広報活動(道の駅の日ウィーク)  
九州・沖縄「道の駅」連絡会 P28

肥後国づくり狂言プロジェクト  
肥後国づくり狂言プロジェクト実行委員会 P28

# 公益目的事業報告書

発行日／令和4年4月

発行者／一般社団法人 九州地域づくり協会

〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目5-19(サンライフ第3ビル4F)

TEL(092)481-3781 FAX(092)481-3785

<http://www.qscpua.or.jp/>



協会ホームページ